

特集

蝶々効果



江別市は大学が集まるまち。  
市内4大学では、約1万人の学生が学んでいます。

とは言うものの、  
「1万人いても、大学生は卒業したらそれっきりでしょ」  
そう思われる方もいらっしゃるかもしれません。

でも、近年、状況は少しずつ変わってきました。

地域に飛び出し、さまざまな活動に参加する「ジモ×ガク」で  
江別の良さを知ろうとしている学生が年々増えてきているのです。

また、昨年には3名もの学生が、学業と仕事を両立する  
学生起業家となり、自身の夢を叶えました。

そう、いま、江別市は

学生が地域に溶け込み、人と触れ合い、自身の可能性を探れる場所、  
夢や希望を自由に叶えられる場所になってきている。

そんな変化が起き始めているのです。

今月号の特集では、大学生の今と私たちの未来に迫ります。

私たちはなぜ、在学中に起業したのか

—どんなきっかけで起業しましたか

齋藤 ボードゲームは友人と暇つぶしで始めたのですが、その世界観にどっぷりはまってしまいました。札幌にあるボードゲームカフェに遊びに行ったとき「こういう世界があるんだ」と知って衝撃でした。その時からずっと頭の片隅に店をやってみたいというのがあったんです。就職活動もしましたが、こっちの世界に突っ走ってしまいました。

山田 僕も自分がやりたいことを仕事としてやっていきたいと思っていて、一緒に起業することを選びました。で、一緒に起業することを選びました。秋山 私は大学3年生のゼミで、江別製粉の商品を使った、インスタ映えスイーツの商品開発をしていんです。ちょうど商品開発を始める前に香港旅行に行っていて、現地でバブルワッフルが流行っていたのが印象的で。日本でも香港スイーツが流行っているのに興味を持ちました。当時、道内でバブルワッフルを扱う店は1店舗しかなかったたので、これはチャンスだと思って、商品開発することにしました。

11月に商品として完成して、翌月に

学内で試食会を行いました。その時点で店を作りたいと思っていました。

—なぜ在学中に起業したのですか

齋藤 「大学生がやっている」という話題性が欲しくて、どうしても在学中に始めたかったです。

ボードゲームカフェは札幌に競合店があるので、今江別で店を開いたとしても、話題性がないというか。札幌の店が有名ですので、そっちで遊んだ方が良いと思われちゃうかなと。

秋山 私は完全にタイピングですね。「やりたい」と思って、その熱量が高いうちにやりたい。融資とクラウドファンディングで資金を調達して、思い立ってから6か月で開業しました。その頃はもう、開業しか考えられなくなっていて。ダラダラやってたら、たぶんできていなかったと思います。

—江別で今後やってみたいことは

齋藤 今後も江別に住み続けるので、まちおこしにも貢献できたらと思っています。

また、あくまで構想の段階ですが、外国人観光客にPRしたいですね。



よしき  
山田 佳生さん(22歳)  
北海道情報大学4年生  
ボードゲームカフェ  
「ELTERN(エルターン)」副店長

ひろあき  
齋藤 弘瑛さん(24歳)  
北海道情報大学4年生  
ボードゲームカフェ  
「ELTERN(エルターン)」店長

Akiyama Hisara

×

Saito Hiroaki

×

Yamada Yoshiki

元々ボードゲームは、海外、特にドイツで作られている物が多くて、子どもの頃からずっと遊ばれている物なんです。江別にも外国人観光客を呼べるようなイベントがあれば良いなど。

秋山 私もやってみたくらいですが、たくさんあります。たとえば、誰でも古着をシェアリングできるサービスのプラットホームみたいな物を作りたいですね。シェアリングなら高校生でもお洒落を手軽に楽しめるかなと思って。

あとは、戸建ての家でシェアハウスをやってみたくいです。物件が見つからなくてやれていないですが。

—悩んでいる人にメッセージを

山田 起業してみようと思ったのが、「とりあえずやってみること」がやっぱり一番大事だなということですね。失敗は成功のもとってよく言うじゃないですか。本当にその通りだなと思います。失敗したら、何が悪かったかを考えて、

次に生かしていくというのが一番大事だと思うので、悩んでいる人はまず何か行動をしてみたいです。

秋山 思っていることはずっと発信していけば、絶対に誰か相談に乗ってくれると思うんです。全然関係ない人でも。SNSで「こういうことをやりたい」と発信したら「私の周りにこういう人いるよ」と繋げてもらえることもあるので。自分の希望は、どんどん発信していく事が大事だと思います。

みんな小さい頃の夢をどこかで諦めちゃう段階ってあるじゃないですか。私はそれを無くしたくて、純粹に夢を見続けています。

齋藤 起業の種類ってたくさんあると思うんです。たとえばボードゲームの世界でも、カフェじゃなく作家さんだとか。でも実際に商品を作るとなると一人では難しい部分もあるので、今後はそういう人の支援をしてみたいなと思っています。



### 可愛井カフェ

"和×かわいい"をコンセプトに、もちもち食感のスイーツ、「バブルワッフル」を販売。道内を中心に、イベントなどにも出店中。ピンク色のキッチンカーが目印。

出店情報は右 QR コードへ。  
毎週木曜日：大麻銀座商街  
※変更になる場合あり



### ボードゲーム&カフェ ELTERN

野幌松並町 2-7

☎ 080-2867-3657

【営業時間】15:00 ~ 23:00

定休日：火曜日



ひさら  
秋山 緋更さん (22歳)  
酪農学園大学4年生  
バブルワッフル移動販売  
「可愛井カフェ」店長

近年、学生地域定着事業「ジモ×ガク」に参加し地域と関わる大学生も増えてきている。学生はどのような影響を受けているのか。関係者が語る。

—「ジモ×ガク」が始まって4年。学生にどんな変化が見られましたか

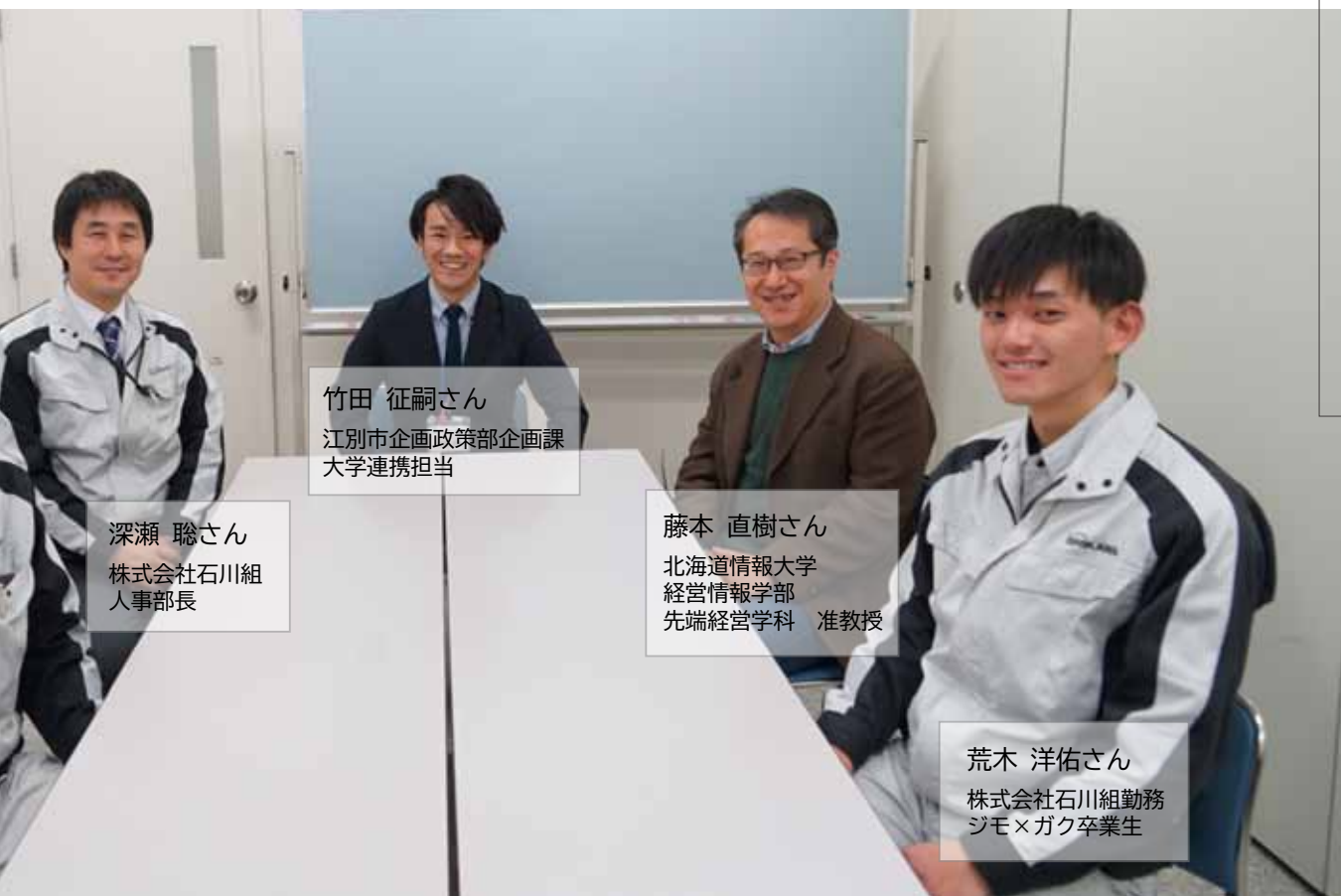
深瀬 いろいろなイベントを通じて学生さんと関わっていますが、間違いなく地元に対する気持ちというのは上がってきていると思います。

ジモ×ガクに参加するだけでも地元に対する気持ちを感じられますしね。

藤本 私が情報大学に赴任した6年前、情報大学では、山田君も所属していたボランティア部が大麻銀座商店街のお手伝いをするなど、地域との関わりが多少見受けられたのですが、他の3大学は立地もあって、アルバイトをする場所も、遊ぶ場所も、やっぱり札幌に向いていたような気がします。

4 大学で学生1万人とはいうものの、大半は札幌や周辺の市町村から通っています。

その中で、江別を全然知らない、4年間通っていても、飲み会を野幌で2、3回やったことあるという程度で終



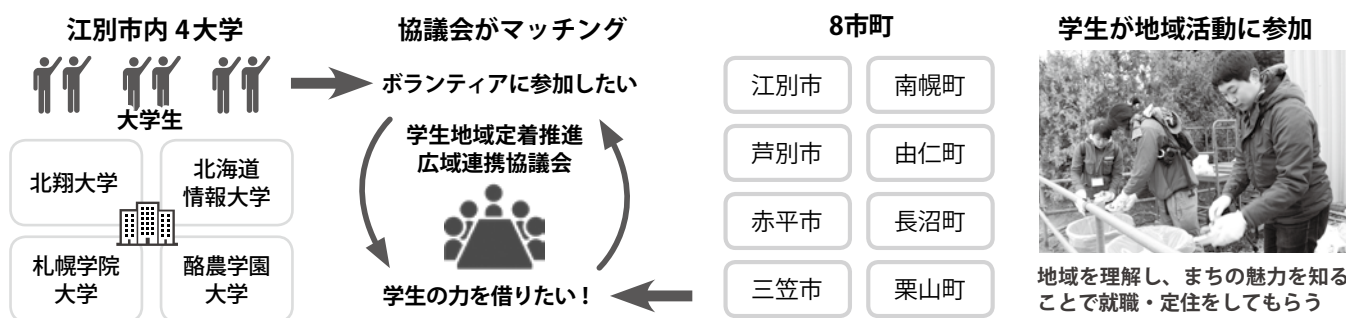
竹田 征嗣さん  
江別市企画政策部企画課  
大学連携担当

深瀬 聡さん  
株式会社石川組  
人事部長

藤本 直樹さん  
北海道情報大学  
経営情報学部  
先端経営学科 准教授

荒木 洋佑さん  
株式会社石川組勤務  
ジモ×ガク卒業生

大学生が地域・地元で学び、活躍する「学生地域定着事業」通称 **ジモ×ガク** はこんな取り組み！





上 / 由仁町むかで競争に参加したジモ×ガクチーム  
 左下 / 栗山児童センターで、夏休み中の小学生と交流  
 右下 / 長沼町夕やけ市に参加した学生。笑顔で飲食物を販売



も増えていくのではないのでしょうか。  
**深瀬** 石川組も若い人が年々入ってきているので、今後も途切れずに入ってきて欲しいです。  
**竹田** そういう意味でも、地域に目を向けてくれる学生さんが増え

てきているなど感じます。  
**荒木** 自分は高校の先生の勧めで大学に入りましたが、4年生まで何をしようか決めていなくて。そういうときに山田さんがキャリアサポート授業で「江別で建設の仕事をします」と話されたのを聞いて、そういう会社が地元にあるんだと初めて知って、そこから就職しようと思いました。  
 — 江別に就職する良さや魅力は  
**山田** 家賃などの物価も安いですし、スーパーも多くて生活には困らないなと思います。娯楽という面では札幌にはかないませんけど。  
 あと、個人的には、地域に対して熱量をもっている人が多いというのが魅力でした。大学1年目にジモ×ガク関係者の方の働きを見ていて、自分も手伝えたいなというふうに思いました。  
 「この人のために頑張りたい」と思える人が、江別にはたくさんいたな、と思います。そこが自分にとって一番魅力に感じた部分でした。  
 一方で、気になるといって、少し違うのかも知れないですけど、寂しがり屋のお年寄りが多いという印象もあります。  
**深瀬** お年寄りや若者のコミュニティが絡み合っていたら良いのかもね。  
**藤本** 今後もジモ×ガクを継続していくとしたら、高齢者を中心としたボランティアなども、企画してみたら良いかもしれませんね。

わってしまるのがせいぜいです。  
 そんな学生たちが、ジモ×ガクがスタートしたことで地域の事に関われるチャンスがすごく増えてきて、「関わってみたら楽しい」とか「熱い人がいる、すごく面白い」と感じているようです。  
 関わり方の密度には個人差があるでしょうけれども、江別や周辺の市町村を知らなかったという学生が、たとえば長沼町の夕やけ市の活動や、赤平や芦別のインターンシップに参加したり、観光施策の検証事業なんかに関わらせてもらって、その地域の取り組みや資源に関する認識を深めています。  
 今まで大学生が関わる機会や、知るチャンスが全くなかったので、そういうきっかけがジモ×ガクという地方創生のプログラムを通して準備できたというのが大きいと思います。

**山田** 最近ボランティアに参加したのですが、参加者が多く、そこに集まった人たちが、それぞれのやりた内容にすごくマッチしていることに驚きました。  
 江別の学生が江別でやりたいことができるという入口ができて良かったなと思います。  
**竹田** 自分は4大学の出身ですが、学生ときはボランティアをあまり意識していなかったんです。当時と

比べると、今は学生さんが、積極的に参加してくれているなと感じます。  
 当たり前にボランティアに参加できる環境が整ってきているということではないでしょうか。  
 また、学生さんも、漫然と参加しているだけではなく、「自分の成長や学びにしたい」という考えの方が増えてきているのかなと思います。  
 ジモ×ガクの参加者も年々増えてきているので、今後地元就職する人も増えていく



山田 雅俊さん  
 株式会社石川組勤務  
 ジモ×ガク卒業生

## 地域と学生をつなぐ ジモ×ガク

―ジモ×ガクの今後について

**藤本** ジモ×ガクは色々なプログラムを通じて、地域の環境や人の良さなど『江別の魅力』を学生がインプットする機会なのかなと思っています。

卒業後、一度都会で就職してみても、自力をつけたけれど、そこで暮らす中で、違う環境で生活してみたいとか、人間関係、ストレス、親の事などで戻らなくちゃいけないというときに、江別の魅力を思い出して、帰る場所として江別が選択肢として浮かんでほしいんです。

4 大学の学生に中長期で江別のことをどこか記憶の片隅に残すというか、インプットして、江別の良さを心に残してもらい、必要になったときに江別



を選んでもらう。言わば仕込みの時期なのかなと考えています。

今後、大学教員としてそんな気持ちで協力していきたいなと思っています。

**竹田** 私も数多くの学生さんに、まず参加して欲しいというのがあります。

藤本先生も仰っていますが、今後Uターンの学生も増えてくると思うんですよね。

こういう活動を続けていくことで、江別に帰りたいと思ってくれる学生が、きつと少しずつ増えてくるんじゃないのかなと思います。来年度からは、内容をさらにアップグレードして、より地域に住むイメージができるような形にできれば良いなと考えています。

**山田** とりあえず自分は江別で頑張っているし江別に戻って来ようかな”と思ってもらえるようになりたいです。

ジモ×ガクの後輩にも自分の姿を見て、江別で働くっていいなと思ってもらえるように頑張っていきたいです。  
**荒木** 僕も時間があればボランティア



などにも参加してみたいと思います。

―ジモ×ガクを通じ学んでほしいこと

**深瀬** 大学4年間という期間の中で、社会人になる準備ができれば良いのかなと思います。

準備ってなんなのかというと、社会人と学生とは考え方が全く違うんだという心構えです。

学生は、就職するために大学に行っていると思いますが、技術的な事よりも、社会人としての心構えを準備していく必要があると思うんですね。

そういう意味でも、ジモ×ガクは、とても良い場所だと思います。



さまざまな年代の人や職業の人と話すというのは多様な価値観を与えてくれますからね。

色々な人と会って、色々な考え方を受け入れてみてから社会人になると良いのではないのでしょうか。

また、たくさん失敗して、打たれてから社会人になってほしいというのがあります。

失敗しないで生きてくると、社会人になって失敗したときに立ち上がれなくなってしまう人もいますので、できれば大学生のうちに、どんな攻めた事をやって、失敗してみてもいいですね。

自分で企画して、作って、失敗して、へこんで、そして強くなるという貴重な体験をして、社会に出る前に成長してきてほしいですね。



## みんなで作る 未来のまち江別

令和元年10月1日、江別市の人口は15年ぶりに増加しました。しかし、全国的な人口減少傾向はいまだ続いています。

人口減少社会では、経済や都市などが衰退していくと考えられており、中長期的に見れば私たちの住む江別市も例外ではないかもしれません。

ですが、それは確実に訪れる未来と言えるのでしょうか。

物理学の世界では、初期条件のわずかな差が、結果に大きな違いを生むことを「蝶々効果」と言います。

いま、江別には、さまざまなきっかけで地域へ関わろうとしてくれる若者が増えてきました。

こうしたわずかな社会の変化が、蝶々効果を生み、人口減少社会で予想される未来を大きく変える、そんな力になるかもしれません。

私たちも明るい未来を待ち望むばかりではなく、彼らとともに未来のまちを作りませんか。彼らの生き生きとした姿は、きつと良い刺激を与えてくれるはずです。

未来は、今の私たちがどう生きるのにかに委ねられているのですから。

特集 蝶々効果 終



### 特集への感想をお寄せください

▼ 郵送・ファクスで送る

〒067-8674 高砂町6 広報広聴課 宛

FAX 381-1149

▼ 市ホームページから送る

右のQRコードを読み込み、アンケートフォームから感想をご記入ください。





# 国民年金保険料は前納するとお得です

国民年金保険料は、申請して前納すると、納付忘れを防げるだけでなく、納付額が割り引きになります。

納付には現金、口座振替、クレジットカードが利用でき、6か月、1年度、2年度分が前納できます。

口座振替の2年前納は2年間で1万5760円割り引かれます（平成31年度・令和2年度保険料の場合）。口座振替は、現金、クレジットカード納付の場合に比べさらに

得です。割引額は左の表でご確認ください。

● 申し込みはいつまで？

口座振替、クレジットカード納付で4月から前納する場合は、2月末が締切です（10月からの6か月前納を希望の場合、締め切りは8月末）。

詳細は左記へお問い合わせください。

【詳細】国保年金課年金担当  
☎ 381-1028

新さっぽろ年金事務所  
国保年金課 ☎ 892-9316

納付方法による保険料額の違い（平成31年度）		
年間支払額 19万6,920円 (毎月納付の場合。平成31年度月額1万6,410円)		
納付方法	現金・クレジット納付	口座振替納付
当月末振替 (早割)	取り扱いなし ※割引のない翌月末振替は可能	年間支払額 19万6,320円 年間 <b>600円</b> 割引
6か月前納 (※1)	年間支払額 19万5,320円 年間 <b>1,600円</b> 割引	年間支払額 19万4,680円 年間 <b>2,240円</b> 割引
1年前納	年間支払額 19万3,420円 年間 <b>3,500円</b> 割引	年間支払額 19万2,790円 年間 <b>4,130円</b> 割引
2年前納 (※2)	年間支払額 38万880円 2年間で <b>14,520円</b> 割引	年間支払額 37万9,640円 2年間で <b>15,760円</b> 割引

(※1) 4～9月分と10月～翌3月分をそれぞれ前納した場合

(※2) 平成31年度と令和2年度の保険料額の合計

## 各納付方法の前納ができる期間と申請に必要なもの

### 現金納付

前納ができる期間：任意の月から翌年度末分まで  
最長で4月から翌々年3月までの2年分  
申請に必要なもの：年金手帳

### 口座振替（4月末に口座から振替られます）※2月末申込締切

前納ができる期間：4月分から最長で翌々年3月分まで  
申請に必要なもの：年金手帳、預金通帳、通帳届け出印

### クレジットカード納付（4月末にクレジット会社により立替納付されます）※2月末申込締切

前納ができる期間：4月分から最長で翌々年3月分まで  
申請に必要なもの：年金手帳、クレジットカード

各納付方法の手続きには  
年金手帳が必要です！



## お忘れなく！ 税の申告

詳しくは、広報えべつ1月号4～6ページをご覧ください。

【詳細】市民税課市民税係 ☎ 381-1012

### 確定申告と住民税申告の受付会場と日程

会場	日程	受付（開場8:45）	受け付けする申告
江別市民会館 21号室	2月6日(木)～3月16日(月) 土曜日・日曜日・祝日などの閉庁日を除く	9:00～11:30 13:00～16:00 3月16日(月)は15:00まで※1	● 住民税申告 ● 確定申告の一部※2
大麻集会所 (市役所大麻出張所2階)	2月3日(月)・2月4日(火) 来場者が多い場合は、途中で受け付けを終了することがあります。	9:30～11:30 13:00～16:00	● 住民税申告 確定申告は受け付けできません

※1 確定申告は3月16日(月)までです。それ以降は市役所では受け付けできませんので、札幌東税務署(☎897-6111)へご相談ください

※2 給与収入、年金収入などの雑収入がある方の還付申告を受け付けます

2/8(土)・9(日)

## 2020えべつスノーフェスティバル

※開場時間は下記参照

会場 市役所北側向ヶ丘特設会場



雪の滑り台やステージイベント、雪だるま装飾のほか、市内高校生が作った雪像も登場予定です。

温かい食べ物や江別の特産品も販売されますので、ご家族みんなでお越しください。授乳・おむつ替えができる赤ちゃんスペースも用意しています。

〔詳細〕えべつ冬季イベント実行委員会事務局(企画課内)  
☎ 381-1015

## タイムスケジュール

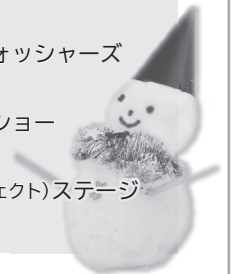
※内容は変更になる場合があります。詳細は市ホームページをご確認ください。

2/8(土) 11:00～16:30 開場(滑り台・飲食ブース)

- 12:00 開会式
- 12:15～12:30 耐寒ラジオ体操
- 12:30～13:15 どっちが勝つでSHOW
- 13:30～14:30 歯磨き戦隊ワールドウォッシュヤーズ  
&ダンスショー
- 14:45～15:15 EIP(えべつアイドルプロジェクト)ステージ

2/9(日) 10:00～15:30 開場(滑り台・飲食ブース)

- 10:30～11:00 レスキューマンショー
- 11:00～12:00 歯磨き戦隊ワールドウォッシュヤーズ  
&ダンスショー
- 12:00～12:30 ダンスパフォーマンスショー
- 13:00～14:00 ちびっこ餅つき大会
- 14:15～14:45 EIP(えべつアイドルプロジェクト)ステージ
- 15:00 閉会式



3/7(土) のっぽろスノーランド

10:00～15:00 会場 野幌総合運動公園



野幌総合運動公園にミニゲレンデが登場! 除雪ドーザーやロータリー除雪車の試乗体験、スノーラフティング、宝探しなど、みんなで楽しめるイベントを開催します。入場無料(一部有料イベントあり)。

## 主なイベント内容

- ・ミニゲレンデでの尻滑り、チューブ滑り
- ・除雪機械展示、試乗
- ・スノーラフティング(200円)
- ・宝探しイベント
- ・売店(たこ焼き、焼き鳥、クレープ、おもちゃくじなど予定)

〔詳細〕野幌総合運動公園 ☎ 384-2166



2/16(日) 江北ふれあい祭り

10:00～14:00 会場 江別市都市と農村の交流センター「えみくる」



今年で13回目を迎える江北ふれあい祭り。「令和の時代に江北から未来へ夢を乗せて」をテーマに、今年も楽しいイベントをたくさん用意しました! おいしいグルメや雑貨などの販売も。入場無料(一部有料イベントあり)。

## 主なイベント内容

- 【屋外】・チューブ滑り ・バナナボート(100円)
- ・宝探しゲーム(100円)
- 【屋内】・ステージ(ジャズバレー、バンド演奏など)
- ・えべつとじゃんけん大会 ・ビンゴ大会(200円)
- ・輪投げやパークゴルフに挑戦(各100円)

〔詳細〕都市と農村の交流センターえみくる ☎ 384-0285